

【訂正版】 各ページの採取場所の記載に、誤りがありましたので訂正しております。

< 参考資料 >
平成25年7月26日
東京電力株式会社

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約 : 7/26)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (シールドプラグ北側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (シールドプラグ北側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (シールドプラグ中央部(下方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年7月25日 11時55分 ~ 12時25分		平成25年7月25日 11時55分 ~ 12時25分		平成25年7月25日 12時50分 ~ 13時20分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	1.7E-05	0.01	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	3.3E-05	0.01	1.8E-05	0.01	ND	-	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、 . × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約7E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約8E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約 : 7/26)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (シールドプラグ中央部(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (機器貯蔵プール西側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (機器貯蔵プール西側(横方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成25年7月25日 12時50分 ~ 13時20分		平成25年7月25日 13時45分 ~ 14時15分		平成25年7月25日 13時45分 ~ 14時15分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	8.2E-06	0.00	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.5E-05	0.01	ND	-	ND	-	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約7E-6Bq/cm³、Cs-134が約2E-5Bq/cm³、Cs-137が約2E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約4E-6Bq/cm³、Cs-134が約9E-6Bq/cm³、Cs-137が約1E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。